
日本NIE学会会報 第4号

日本NIE学会事務局
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2
国立大学法人横浜国立大学教育人間科学部
影山清四郎研究室内
TEL/FAX 045-339-3433
E-mail kseishiro@edhs.ynu.ac.jp

日本NIE学会第3回大会のご案内（二次案内）

日本NIE学会第3回大会を以下のとおり開催いたします。皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日本NIE学会会長 影山 清四郎
第3回大会実行委員長 高木 まさき

- 1 期 日 平成18年11月18日（土）～19日（日）
- 2 会 場 横浜国立大学教育人間科学部講義棟8号館（別紙案内図をご参照ください）
横浜市保土ヶ谷区常盤台79番2号
アクセスガイド http://www.ynu.ac.jp/access/acc_3.html
【相模鉄道（各停）和田町駅より】徒歩20分
【JR横浜駅西口より】バス15～20分
タクシー10～15分 正門まで約1400円
- 3 参加費 大会 2000円（学生・院生1000円）
懇親会 4000円
- 4 後 援 神奈川県教育委員会・横浜市教育委員会・川崎市教育委員会
- 5 プログラム
(1) 11月18日（土）

12:00 13:00 14:00 15:00 15:15 17:15 17:45 18:00 19:30

理事会	総会	講演		課題研究	交流タイム		懇親会
-----	----	----	--	------	-------	--	-----

理事会 [会場 8-104]
総会 [会場 8-102]

学長挨拶 横浜国立大学 学長 飯田 嘉宏 [会場 8-101]
講演 特派員の見た日本の新聞 [会場 8-101]
ノリミツ・オオニシ(ニューヨーク・タイムズ東京支局長)
インタビュアー 秋山 理砂(神奈川新聞社)
司会 鷲見 徹也(横浜国立大学)

課題研究

【第1会場】 学校外に広がる新聞活用 [会場 8-102]
司会 高辻 清敏(北海道新聞社)
谷田部玲生(国立教育政策研究所)
学校と家庭が協力して取り組むファミリーフォーカス
- ある家族のポートフォリオと育つ力 -
岸尾 祐二(聖心女子学院初等科)
光本 愛理(聖心女子学院初等科6年生)
光本 和美(聖心女子学院初等科保護者)
ワンガリ・マータイさんと連携した
「MOTTA INAI」キャンペーンの発信
足立 旬子(毎日新聞)
民間教育機関での新聞活用の実際と可能性
- 開倫塾での取り組みの現状と課題 -
林 明夫(開倫塾)

【第2会場】 日本型NIEの理論化をめざして(1) [会場 8-201]
- 新聞社におけるNIE実践の分析を通して -
司会 小原 友行(広島大学)
地方紙におけるNIEの自己分析 - 神奈川新聞の場合 -
鎌田 良一(神奈川新聞社)
地方紙におけるNIE実践の分析
臼井 淑子(横須賀市立鴨居小学校)
全国紙におけるNIEの自己分析 - 読売新聞の場合 -
岡田誠太郎(読売新聞)
全国紙におけるNIE実践の分析
豊嶋 啓司(福岡教育大学)

交流タイム [会場 8-107]
各新聞社等のNIEに関する取り組みの紹介、会員の方の情報交換等を行います。

懇親会 [会場 大学会館 2F シェルシュ]

(2) 11月19日(日)

9:00	10:30	10:45	12:30
自由研究発表		シンポジウム	

自由研究発表

【第1会場】 司会 甲斐雄一郎（筑波大学） [会場 8-104]
岩間 正則（横浜国立大学附属横浜中学校）

N I E の先駆者大村はま

橋本 暢夫（元鳴門教育大学）

戦後初期の新聞に関する学習

- 目黒区立第八中学校における大村はま実践にみる -

稲井 達也（東京都立小石川中等教育学校）

全校で取り組む「国語力の向上」 - 「国語力」にN I Eを -

小泉 佐保（高槻市立如是中学校）

【第2会場】 司会 上谷順三郎（鹿児島大学） [会場 8-106]
挽地 一代（奈良市立東市小学校）

メディアリテラシーを育成するN I Eの開発 - 情報の送り手体験を通して -

植田 恭子（大阪市立天王寺中学校）

新聞の報道写真を用いたデッサンワーク

- B.エドワーズ著『脳の右側で描け』の理論をもとに -

和泉 真美（大阪府立桃谷高等学校）

【第3会場】 司会 下田 好行（国立教育政策研究所） [会場 8-206]
野津 孝明（島根県立松江南高等学校）

教師教育現場におけるN I E実践 - 「社会科教育法」での試みから -

伊藤 裕康（香川大学）

地域ミニコミ誌づくりを通じたN I E学習（2）

- 新聞づくりによる市民性の育成を目指して -

中 善則（岸和田市立土生中学校）

社会参加意識向上のための新聞活用

本田 清（横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校）

【第4会場】 司会 鴛原 進（愛媛大学） [会場 8-207]
本杉 宏志（東京都立町田高等学校）

不登校へのかかわりと新聞

坂本 幸仁（貝塚市立第二中学校）

新聞記事スクラップからみる中学生の思考の傾向

熊倉千砂都（横浜国立大学大学院）

学校にとって「体験」とは何か - N I Eのための理論的前提 -

後藤 隆一

【第5会場】 司会 西村 隆男（横浜国立大学） [会場 8-202]
川崎 操（川崎市立川崎総合科学高等学校）

大学教育における新聞活用とその効果

- 自ら考え、行動する技術者の育成を目指して -

吉田 信夫（金沢工業大学）

新聞を活用した大学初年次生に対する計画性教育の試み

桐山 聡（徳島大学）

公民科「現代社会」 - 在り方生き方教育の展開 -

北川 保 (セントヨゼフ女子学園高等学校)

【第6会場】 司会 坂根 健二 (香川大学) [会場 8-203]

中根 淳一 (神奈川県立三浦臨海高等学校)

新聞スクラップから教育の未来を考える

- 相模原市小中学校29人の校長に対するNIE実践のためのサポート -

井上 芳明 (相模女子大学)

新聞を活用した授業開発の研究 - 米国におけるNIE教材提供活動を中心に -

岡山 三智子 (横浜国立大学大学院)

シンポジウム リテラシーを育てるNIE - 教育課程改革とNIE - [会場 8-101]

コーディネータ 阿部 昇 (秋田大学)

影山清四郎 (横浜国立大学)

パネリスト 有馬 進一 (藤沢市立大庭中学校)

生田 孝至 (新潟大学)

田中 孝一 (文部科学省)

府川源一郎 (横浜国立大学)

6 大会及び懇親会参加申し込み

別紙に必要事項をご記入の上、郵便またはファクスで10月31日(火)までにお申し込みください。なお、大会及び懇親会参加費は、大会当日にお支払いください。

7 発表資料について

大会当日に発表資料を配布する場合は、以下の部数をご用意ください。

課題研究発表 150部

自由研究発表 150部

シンポジウム 250部

なお、シンポジウム以外の当日配付資料につきましては、各自ご持参くださいますようお願い申し上げます。

8 日本新聞博物館見学について

日本新聞教育文化財団のご厚意により、大会開催日の下記の時間帯に、大会参加者は、日本新聞博物館を無料で見学することができます。見学希望者は、事前にメールかFAXで下記までご連絡ください。

見学時間帯 11月18日 10:00~17:00、11月19日 12:00~17:00

事前申し込み先 日本新聞教育文化財団NIE部

Email: nie@newspark.or.jp

FAX: 045-661-2039

所在地 〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通11

アクセス みなとみらい線 日本大通り駅情文センター口直結

JR 根岸線・市営地下鉄 関内駅 徒歩10分